

「地方創生」を実現する 九州発の先駆者を表彰

九州を元気にする

【崇城大学】本来捨てられる物を資源として活用している。地球に優しい「社会性」のある素晴らしいプランだった。

2016年11月28日
西日本新聞 P10～11

学生起業アイデア部門

崇城大「Ciamo」が大賞

焼酎かすで光合成細菌を培養

学生起業アイデア部門では、2大学の学生が発表し崇城大学生物生命学部の「Ciamo (シアモ)」が大賞に選ばれた。

農業の有機肥料や水産業の水質管理に用いられる光合成細菌を、焼酎かすで培養することに成功した。光合成細菌は農水産業で使うには高価だが、通常廃棄される焼酎かすを活用すれば原価を抑えられる。蔵元にとっても廃棄コスト削減に役立つ。チームリーダーの古賀碧さん(22)は熊本県あさぎり町出身で、幼い頃から蔵元を見て育った。大学で微生物を研究しながら、農水産業、蔵元双方の発展に寄与したいと発案した。

敢闘賞は佐賀大学大学院「Day Dry」が獲得した。



プレゼンを行う
古賀碧さん